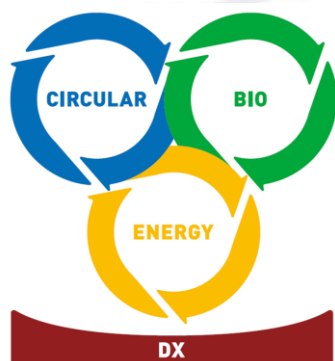


「マテリアル新規領域の検討に関する調査」 公募説明会

2025年7月29日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション戦略センター
マテリアルユニット



- NEDOイノベーション戦略センターは、マテリアル※の調査・分析を通して、イノベーションを起こすべき領域を特定するInnovation Outlookの策定に取り組んでいます。
 - 我が国にはマテリアルに関する強い競争力を持った領域が多数存在しており、社会課題解決や新産業の創出における重要な貢献が今後も期待されています。
 - 本調査では、市場・技術・政策動向等を調査・分析することにより、社会課題の解決、あるいは新価値創造、産業競争力の強化等を実現し得る、マテリアルとして取り組むべき新規領域の検討を行います。
- ※ 本調査で想定しているマテリアル領域とは、素材およびそれらを使用して作られる部品、および製造のためのプロセス技術、マテリアルから派生したサービス、システムなどを含む。

- 目的を達成するため、下記項目について調査を実施する。なお、実施にあたっては、NEDOとの緊密な連携のもとで行うものとする。

（１）マテリアルの貢献が期待される分野の整理および新規領域候補の選定

デスクトップ調査を基に、既存の調査報告書や文献等を活用し、外部環境の変化や社会ニーズのトレンド等を踏まえた、概ね15～20年後の将来社会の実現に貢献するイノベーション事例を収集し、整理・分析を通じて、新しい価値を生み出すようなマテリアル新規領域候補を複数選定する。選定にあたっては、NEDOとの協議の上、素材・プロセス・計測・AI・市場・サービス・ビジネスモデル等との組み合わせによる、新しい価値の創出、社会課題の解決、新市場の創出、産業競争力の強化等を考慮する。

- 目的を達成するため、下記項目について調査を実施する。なお、実施にあたっては、NEDOとの緊密な連携のもとで行うものとする。

（２）マテリアル新規領域の詳細調査

（１）で選定した複数の領域の中からNEDOと協議の上、2～3領域選択し詳細調査を行う。詳細調査にあたって調査する項目は以下の例を参考に適宜取捨選択する。

- ・国家PJの実施状況を含めた政策動向
- ・論文、特許、ニュースリリース等の文献調査
- ・対象技術の国内外のプレイヤー動向
- ・対象領域の市場性（成長性、経済効果）
- ・技術・アイデアの革新性
- ・カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに関わる事項
- ・技術成熟度（TRL2～4のものを想定）

各領域について5件程度、関連する産業界、大学等の有識者に対し、ヒアリングによる調査を実施する。ヒアリングはNEDO、経済産業省の同行を基本とする。

その後、上記を取りまとめ、解決したい社会課題、期待されるインパクト、将来性、技術コンセプト、技術・アイデアの革新性、技術課題等を整理し、実現に向けたシナリオ形成を行う。